

巻頭特集

児童福祉法等改正から見る 社会的養護の今とこれから

1. 平成28年児童福祉法改正のポイントと、今後の課題

—児童福祉法の理念の明確化等—

(山本 恒雄) 16

表1	児童の権利に関する条約	第3条
表2	児童の権利に関する条約	第18条・27条
表3	児童の権利に関する条約	第5条
表4	児童の権利に関する条約	第20条
表5	児童の権利に関する条約	第12条
表6	児童の権利に関する条約	第9条
表7	ボウルビーが挙げた施設養護の適用範囲(1951 WHO)	

2. 母子保健などを含む広域的な対応に向けて

—児童虐待の発生予防—

(和田 一郎) 20

表1	児童虐待の発生予防に関する主な改正点
図1	子育て世代包括支援センターのイメージ
表2	子育て世代包括支援センターの必須業務
表3	現状と子育て世代包括支援センター設置後の望ましい姿(参考)
表4	「支援を要する妊婦等に関する情報提供」の改正の概要
表5	「母子保健施策を通じた虐待予防等」の改正の概要
表6	支援を要する妊婦と虐待による死亡事例

3. 児童虐待の包括的な防止の現状と課題

—児童虐待発生時の迅速・的確な対応—

(山口 貴史) 24

表1	児童虐待発生時の迅速・的確な対応の改正点
図1	市町村における支援拠点のイメージ
表2	要保護児童対策協議会の設置状況の推移
表3	要保護児童対策地域協議会調整機関への専門職の配置状況(平成27年度)
図2	児童相談所設置の改正の変化
図3	児童相談所における専門職の増員目標
図4	児童相談所の設置を考えている自治体(平成29年)
表4	児童相談所の設置にあたり、自治体の主な意見

4. 自立支援の概要と、その課題

—被虐待児童への自立支援・その他の改正関連事項—

(山本 恒雄) 28

表1	児童福祉法改正による里親の類型
----	-----------------